



ハロウィンジャンボ発売状況について

令和2年度のハロウィンジャンボ宝くじは、9月23日から10月20日まで発売されました。発売実績は昨年に比べ全国で9.8%増、北海道では15.3%増となりましたが、高額当せん金が多く出たことなどから、北海道への収益金配分額は昨年に比べ6.5%減の約5億6791万円となりました。市町村には時効金と合わせて令和3年2月に交付する予定です。

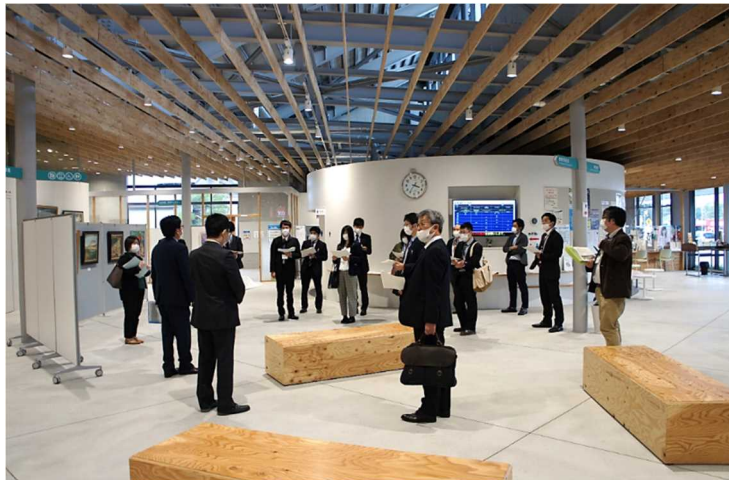
Topics

協会事業のお知らせ



国内先進事例研修を実施しました

令和2年度市町村職員国内先進事例研修は、10月14日(水)～16日(金)の3日間の日程で、14市町村の14名の職員の参加のもと、夕張市、栗山町、当別町及び安平町の1市3町で実施しました。



夕張市 複合拠点施設 「りすた」



当別町 ドローン操作体験

夕張市では、財政再生団体移行後の財政再建と地域再生の両立の取組を学びました。「安心して幸せに暮らすコンパクトシティゆうばり」をまちの将来像として策定された夕張市都市計画マスタープランの具体的な取組の中でも、今回見学に訪れた複合拠点施設「りすた」は令和2年3月にオープンしたばかりで、図書館や行政窓口、公共交通機関のハブ機能などを備えた夕張市の新しいシンボルと位置付けられています。

栗山町では、超高齢化社会の適応に向け、高齢者が社会参加することによって得られる介護予防効果の調査を行うなどのソーシャル・キャピタルの醸成と介護予防の取組と、ものづくりをする方を応援するクリエイターズマーケットの運営などクリエイターの移住定住を最終目標とした認知度向上やブランドイメージの定着などの取組を学びました。

当別町では、河川支障木のバイオマス発電への活用に向けた成分分析などの基礎的研究の取組と、小型無人機(ドローン)のスマート

農業や災害時の状況把握、さらには各種イベント等への幅広い活用について説明を受けました。また、研修参加者6名が、実際にドローンの操作を体験しました。

安平町では、平成31年2月にMONET Technologies株式会社(MONET)と協定を結び、研究が進められている次世代モビリティの活用に関する事業者・住民へのアンケート調査や町内ヒアリングなどの基礎調査研究事業について説明を受けました。



市町村職員政策研修会の講演動画配信について

11月12日(木)に開催を予定していましたが「令和2年度市町村職員政策研修会」は、新型コロナウイルスの急激な感染拡大を受け、開催を中止しました。

本研修会で予定していた講演について、道内の市町村職員向けの動画を制作し、現在、当協会のホームページで配信しています。ぜひご視聴ください。

配信ページ URL <https://do-shinko.or.jp/r2seisakukenshuukai/>

※視聴にはパスワードが必要です。パスワードは職員研修担当課等へ通知しています。

(講演Ⅰ) 演題 新型コロナウイルス対策と令和3年度の地方財政

講師 小西 砂千夫 氏 (関西学院大学大学院経済学研究科・人間福祉学部教授)

配信期間 令和2年11月27日(金)～令和3年3月31日(水)

(講演Ⅱ) 演題 メディア情報のゆがみと風評をどう考えるか

講師 小島 正美 氏

(食生活ジャーナリストの会代表・食品安全情報ネットワーク共同代表)

配信期間 令和2年12月9日(水)～令和3年2月28日(日)



市町村アカデミー等研修受講助成金の申請開始受付は1月中旬予定

市町村アカデミー、国際文化アカデミー、建設研修センター及び下水道事業団研修センターが実施する研修を受講した市町村等職員の旅費を対象に助成を行います。公務による特別職(市町村長や議員、嘱託職員、非常勤職員等)の受講も対象となります。交付要綱をご確認の上、申請漏れのないようお願いします。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部オンラインで研修を行っている研修所もありますが、オンライン研修は助成の対象外となりますので、ご注意ください。

申請受付のお知らせは令和3年1月中旬頃に各市町村へ電子メールで行います。担当者の異動などに伴い、メールアドレスに変更がありましたら、当協会までご連絡ください。

今後の主な行事予定

※当協会の年末年始休暇は、令和2年12月31日(木)から令和3年1月5日(火)までとなっております。